

2011年3月31日

楠ヶ丘会北京支部希望工程活動報告

楠ヶ丘会北京支部
支部長 村上信夫

3月19日(土)楠ヶ丘会北京支部伊藤幹事が河北省承德市双橋区西地郷肖店村希望工程小学校を訪問、楠ヶ丘会活動資金と北京支部会員の寄付で購入した書籍250冊を受渡ししました。

当日、承德市双橋区教科吳陽指導員、肖店村希望工程小学校孫秀臣校長他先生方、児童の皆さんの歓迎を受けました。

2009年度(2009年11月)は偉人伝、物語などの文科系書籍が中心であったため、今回は理科系書籍が中心で、科学図鑑、動物写真集、宇宙に関する書籍など、子供が興味を持つ内容の書籍250冊を寄贈しました。

前回寄贈した書籍、レーザープリンターについては、書籍は北京日本人会寄贈書籍専用の書棚があり、その中に前回寄贈した楠ヶ丘会北京支部寄贈書籍も整理され、保管されており、多くの児童が閲覧していました(別添写真参照)。

また、レーザープリンターは北京日本人会が歌手の平原綾香さんの北京コンサートの収益金から寄贈したというデスクトップパソコンの隣に設置され、活用されていました(別添写真参照)。

本希望工程小学校へは、2001年、中島支部長、増田幹事の時代に、書籍、文房具を寄贈したのが始まりですが、その後中断、2009年度より再開いたしました。楠ヶ丘会北京支部としては、小規模ながら今後も継続していきたいと考えております。

中国で働く我々は、何らかの形で中国からの恩恵を受けており、中国の役に立つ活動をしていきたいと考えております。中国はGDPでは日本を抜いて世界第二位になりましたが、一人当たりGDPベースでは、まだ途上国であり、農村部ではまだ就学が困難な児童がいる他、学校の施設も不十分な状況が見られます。今後北京だけでなく、まだ上海支部の方とは連絡を取っていませんが上海も含めて希望工程などの活動を進めていければと考えています。ついては、是非とも卒業生の皆様のご協力をお願いできないでしょうか。寄付の使い道については、上海支部とも相談させていただき、事前に計画を出させていただくとともに、会計報告とともに実施報告をさせていただきます。事務局にて窓口となってまとめていただければ幸いです。

よろしく願い申し上げます。

以上



孫校長と伊藤幹事



寄贈した書籍を読む児童



寄贈した書籍を読む児童



北京日本人会希望工程图书室



北京日本人会寄赠图书书棚



北京日本人会寄赠书籍书棚



2009年に寄贈したプリンター
以上